



校長室だより 足立区立第九中学校

第68号 平成28年8月26日発行 長塚琢磨



【夏休み明け！うれしい笑顔！前期の締めくくりにファイト！】

久しぶりに生徒の元気な登校の様子を見ることができ、大変うれしく思いました。さわやかな挨拶の声、素敵な笑顔は、よりよく生きている証であると感じました。

8月から9月は、前期の締めくくりの時期です。これまで学んできた成果を確認する期末考査が9月14日（水）から始まります。また、生徒会や部活動など新体制でスタートしていく時期でもあります。

3年生は、最後の宿泊行事である修学旅行がありますので、素敵な思い出をたくさんつくってほしいと思います。そしてその後は、自分の進路を自らで切り拓くことに全力を尽くし、義務教育の9年間で納得いく締めくくってほしいと考えています。

中学生の時期は、多くの楽しい体験とともに、様々なことに悩みながら、つらいことを乗り越えて立派な大人に成長していく重要な時期です。保護者や地域の皆様には、時には厳しく、時にはあたたかく見守り、学校と連携して取り組んでくださいますようお願いいたします。



【夏休みの思い出、そして学んだこと！】

私の夏休みの思い出の第一は、大会やコンクール、サマースクールや補充教室、勉強合宿などで生徒の頑張りを見ることができたことです。真剣に取り組む姿、思いっきり喜ぶ笑顔、悔しい涙など、生徒から感動と勇気をもらいました。

第二は、地域の様々な所を見て、盆踊りに参加し、地域の方と旅行をしました。そのことで、地域をより好きになりました。

第三は、昔の仲間やお世話になっている方と共に過ごす時間が取れたことです。少し離れていたからこそ感謝の気持ちをしっかりと伝えることができました。

自分の気持ちや見方を変えると、新しい素敵な発見ができることに気が付きました。



忘れもの

高田敏子

入道雲にのって

夏休みはいつてしまいました

「サヨナラ」のかわりに

すばらしい夕立をふりまいて

今朝、雲は真っ青

木々の葉の一枚一枚が

新しい光とあいさつをかわしている

だがキミ！夏休みよ

もう一度もどってこないかな

忘れものをとりにさ

迷子のセミ

さびしそうな麦わら帽子

それから

僕の耳にくっついて離れない

波の音



【全国大会に後援会の支援！】

3年生の遠矢くんが、走高跳びで関東大会ベスト8に入るとともに、松本市で開催された全国中学校体育大会、全日本中学校陸上競技選手権大会に出場しました。

足立九中後援会から懸垂幕と共に参加補助金等の支援をいただきました。右の写真は顧問への贈呈です。九中をいつもあたたかく見守り、様々な支援をしてくださる足立九中後援会の皆様に心より感謝申し上げます。



松本市で行われた全国大会で1 m 85cmクリアした瞬間

←(左の写真)



【九中教職員の情熱と思いやり！】

東京都では全公立学校で子供の健やかな成長を目指し、学校や家庭・地域における体罰防止スローガンを考えることとしています。九中では、全教職員で検討し、右のポスターを作製いたしました。

学校・家庭・地域が連携し、大人が情熱や思いやりをもって子供に積極的に関わり、暴力やいじめのない素敵な社会をつくっていきたくと考えておりますので御理解と御協力をお願いいたします。



【涙のわけ:オリンピックレガシー(遺産)！】

日本が史上最多の41個のメダルを取ったリオデジャネイロオリンピックが終了しました。出場した選手たちが全力を尽くす姿や涙を流す姿を見て、多くの人が感動しました。

選手たちは、不安を抱えながらも自分たちを信じ、最大の努力をしていたからこそ涙があふれたのだそうです。つまり、涙は本気で取り組んだこと、全力を出したことの証だと言えます。これこそが、重要なオリンピックレガシーであることを学びました。



【8月に贈る詩】

7月25日(月)の早朝、九中を会場におこなわれているラジオ体操に参加しました。地域の皆様が子供たちのために開催していますが、保護者の皆様も子供と一緒に体操する姿に感動しました。人は、人と関わり、人を愛し、人に愛されることにより、成長することを実感しました。

おかあさんのたからもの
愛知県生平小学校一年
杉山晴彦

せんせいあのね
おかあさんのたからものは ぼくだって
おかあさんのたからものは
おかあさんのたからものは
ぜったい ゆびわだと おもっていたけど
ゆびわは 二ばんめだった
ぼく
たからものになっちゃって こまるよ
たからものって
はめたり つけたり かけたりするもの
なのに
でも なんか いいきぶん
ぼくは
そとへでて はしりまわったよ